

令和2年度 綾部市立西八田小学校だより

八田ブロック共通【学校教育目標】

# とよさか

「未来を切り拓く子どもの育成」  
～夢に向かって進む八田の子～  
八田ブロック共通【めざす児童像】

- ・自ら学び、自ら考え行動する子ども
- ・自分を大切に、人を大切にする子ども
- ・健康で、たくましく生きる子ども

令和元年10月16日（金）発行

## よいことをコツコツ続けること

10月に入り、朝夕涼しくなってきました。先月20日の運動会には、たくさんの保護者や地域の皆様にお越しいただき、子どもたちへの温かい声援（拍手）をありがとうございました。短い練習期間ではありましたが、子どもたちは目的を持って日々の練習に取り組み、当日はその成果を十分に発揮しました。子どもたちの一生懸命な姿に大きな感動を受け、大きな成長を感じました。今年はコロナ禍での運動会となりましたが、その中で何ができるか、子どもも職員も一生懸命考えました。人工知能（AI）は、過去のたくさんのデータをもとに未来を予測することは可能ですが、全く新しい物を作り出したりすることはできません。つまり0から1を生み出すクリエイティブな力は、人間の持つ大きな力であり、これからの予測不能な時代においてはとても重要な力となります。このコロナ禍だからこそ、このようなクリエイティブな力をたくさん発揮できると、少しポジティブに考えています。

さて、10月7日に学校朝会がありました。これまでは全校が集まる機会をできるだけ控えていたため、今年度初めての会でした。この会で、私は子どもたちに2つのことを話しました。1つ目は、「よいことをコツコツ続けること」です。「雨垂れ石を穿つ」ということわざがありますが、小さな雨粒でもそれが積み重なることで硬い石に穴をあけるほどの大きな力となることから、小さなことでも毎日根気よく続け、努力すれば、ついには成功に通じるということをお話しました。ただし、よくないことも毎日続けていると、それが習慣化してしまうので、よいことを続けましょうとお話しました。2つ目は、「いつでも、誰にでも気持ちのよいあいさつをすること」です。「人と人の関係をよくする」、「気持ちを伝えることができる」というあいさつのよさについて触れながら、八田ブロックの「輝くあいさつ7箇条」が実践できているか子どもたちに問いかけました。学校朝会後の子どもたちの感想を聞いてみると、「自分はしっかりできているのでこれからも続けていきたい」、「あいさつはしているけど相手の顔を見てできていなかった」など、今の自分をしっかりと見つめ、振り返ることができているようでした。翌日の朝、多くの子どもたちが私の顔を見て気持ちのよいあいさつを実践できていました。すぐに変えることのできる子どもたちの素晴らしさに感心しました。これからも折に触れてあいさつについて振り返る場面をつくりながら、よいことをコツコツ続けることができるよう取り組んでいきたいと思えます。

### 八田ブロック 輝くあいさつ7箇条

- 1 相手より先に
- 2 明るい声で
- 3 相手の顔を見て
- 4 心を込めて
- 5 つながるように
- 6 笑顔で
- 7 はっきりと



あいさつをしよう！！

校長 小嶋 康弘

## 西八田の小窓

### マラソン記録会 走った！走った！自分の記録を伸ばそうと！

秋晴れの下、マラソン記録会を無事に開催することができました。今年から、コースを変更するとともに、新学習指導要領の各学年のねらいにそって時間走としました。ゴールする速さを競うのではなく、低学年3分間、中学年5分間、高学年7分間を走り、走った距離を計測しました。

体育の時間に繰り返し練習し、本番では少しでも自分の距離を伸ばそうと頑張る姿が印象的でした。

また、高学年が低学年とペアを組み、記録を測定しましたが、優しく高学年の児童がペアの低学年の児童に接する姿もあり、心身ともに成長した記録会となりました。

保護者の皆様には、コロナ禍ということで声援ではなく、温かい拍手で子どもたちを応援していただきありがとうございました。

